

オムロン ヘルスケアニューズレター

Contents

特集

「オムロン 音波通信体温計 MC-6800B けんおんくん」

音波通信の手軽さで、忙しい朝の検温記録がスマートフォンで簡単・便利に。

毎日の検温習慣の定着で市場ニーズが高まり、発売わずか2カ月で販売台数10万台を突破！

● ニューノーマルなライフスタイルで活躍！

- 毎日の検温結果をスマートフォンで管理できる音波通信体温計
- 音波通信機能とは？ 検温結果をスマートフォンにスピード転送される仕組み

● INTERVIEW

- 「ニューノーマルなライフスタイルにおけるストレスの少ない体温管理に」

● TOPICS

- 「平熱」は個人差がおおきいので自分の傾向を知ることが大切

● COLUMN

- 「平熱を知る」ことから始めよう

keywords

- 音波通信
- ニューノーマル
- スマートフォンアプリで管理
- 検温習慣
- 平熱を知る

特集

「オムロン 音波通信体温計 MC-6800B けんおんくん」

音波通信の手軽さで、忙しい朝の検温記録がスマートフォンで簡単・便利に。

毎日の検温習慣の定着で市場ニーズが拡大し、発売わずか2カ月で販売台数10万台を突破！



新型コロナウイルス感染症（COVID-19）への感染対策の一環として、毎朝の検温が習慣化しつつあります。今年2月に行った小学生以下の子供を持つ母親への当社調査^{*1}では、日常的に検温を行っている母親は約70%にのびました。そのうち、毎日検温をしている人は約6割を占め、ニューノーマルなライフスタイルの中で検温が健康管理の一環として定着していることが伺えます。

その結果、2020年度の体温計の市場規模は昨年度比で国内約190%と大幅に拡大しました。^{*2} このような市場環境の中、2021年3月に発売されたのが「オムロン 音波通信体温計 MC-6800B けんおんくん」です。この音波通信体温計は、発売からわずか2か月後の5月末時点で販売台数10万台を突破し、売上目標の約2.5倍を達成しました。音波通信機能を搭載したこの体温計は、健康管理アプリ「OMRON connect（オムロン コネクト）」で毎日の体温を管理することができます。音波通信で簡単に検温結果を転送できるという手軽なユーザビリティにより、市場で大きな支持を得ています。今回、音波通信の仕組みと商品開発に込められた想い、そしてこの体温計とアプリを使った体温管理の事例をご紹介します。

^{*1} 調査対象：関東、関西在住の3歳～12歳のお子さんがある女性1,076人／調査期間：2021年2月8日（月）～12日（金）

^{*2} 国内市場：オムロン ヘルスケア調べ

ニューノーマルなライフスタイルで活躍！

音波通信の手軽さで、忙しい朝の検温記録がスマートフォンで簡単・便利に

●毎日の検温結果をスマートフォンで管理できる音波通信体温計

当社の健康管理アプリ「OMRON connect」で毎日の体温を管理できる「オムロン 音波通信体温計MC-6800B けんおんくん」。予測式体温計なので測定時間は約15秒と、慌ただしい朝でも素早く短時間で検温できます。

測定が終了すると自動的に音波通信機能が起動し、本体から音波を発信。起動しているOMRON connectの「転送をはじ

める」ボタンをタップした後、ガイドに従ってマイク部に体温計をかざすだけで、検温結果が数秒で転送されます。手軽に毎日の検温記録をアプリで管理でき、グラフ画面では、週や月、年間の平均体温も分かります。データはCSVファイルに出力し、職場等への体温報告に利用することもできます。データを蓄積していくことで、わずかな体調の変化にもきづくことができます。

●音波通信機能とは？ 検温結果をスマートフォンにスピード転送される仕組み

音波通信は、検温結果データを音波に変換し鳴動させることで、通信相手のデバイスにデータを送信する通信技術です。この技術により、Wi-Fiやネットワークの電波状況などの通信環境に左右されることなくスマートフォンにデータ通信できます。また、Bluetoothのようなペアリングの作業も不要なため、誰でも簡単にアプリで体温管理ができます。

こちらの動画から
測定から転送までチェック

https://twitter.com/omron_hc_pr/status/1409330743222755331?s=20



- 1 体温の測定が終了すると、
検温結果を音波に変換



- 4 スマートフォンのマイク
部に体温計をかざす

- 5 鳴動した音波を
マイクが受信



- 2 変換された音波は
体温計から鳴動

- 3 OMRON connectを起動し
「転送をはじめる」をタップ



- 6 受信した音波を
体温データに変換し、
アプリに記録



INTERVIEW 「ニューノーマルなライフスタイルにおけるストレスの少ない体温管理に」

オムロン ヘルスケア株式会社
グローバル商品事業統轄部 ペインマネジメント商品事業部
体温計プロダクトマネージャー 鈴木 草也香さん

皆さんはもうすでに実感されていると思いますが、コロナ禍で私たちの体温に関する意識は大きく変わりました。学校や仕事に行く前の検温、お店や公共施設でも入る前に体温のスクリーニングをしています。これは、今までの、「少し熱っぽいかな」「風邪かな」と感じた時に体温を測るという行動とは大きく異なります。私たちは、日常の中に習慣化しつつあるこの検温を、より手軽に、より継続的に行えないかと考え音波通信体温計を開発しました。

この体温計は、忙しい日々のなかでも、子供から高齢者まで簡単に操作できる音波通信を採用しています。測定時間は約15秒、データ転送は数秒で完了します。

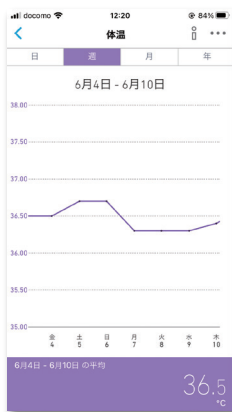
ありそうでなかった「検温結果を転送しスマートフォンで管理する」ことは、これからの新たな習慣である毎日の体温管理に役立つと考え商品化しました。

今はまだコロナ禍での生活が続いていますが、コロナ終息後も毎日の検温は私たちの一番身近な健康チェックの習慣になると思います。一人ひとり異なる体温を知ることが健康管理の第一歩となりますので、オムロンの音波通信体温計で手軽にご活用下さい。

私たちはこの音波通信体温計で、ニューノーマルなライフスタイルにおけるストレスの少ない体温管理を実現していきます。

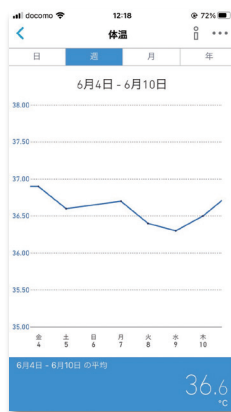
TOPICS 「平熱」は個人差がおおきいので自分の傾向を知ることが大切

コロナ禍により検温の機会が増えたことで、自分の体温を意識するようになった方も多いことでしょう。
身近な健康チェック方法である検温を継続し、データを蓄積すると毎日の体温の捉え方が変わります。



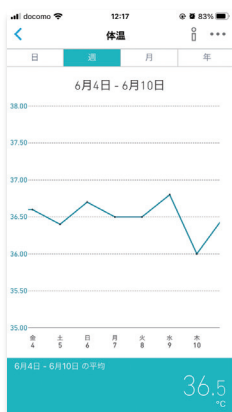
社員Aさん（男性）

毎日起床後、同じ時間に測定していましたが、このような体温の変化があることは、グラフを見るまで体感ではわかりませんでした。実際にグラフで見てみると日によって変化していることに驚きました。昔から平熱は36度くらいかと思っていたのですが、0.5度ほど高そうだということを知りました。改めて自分の身体のことを知る良い機会となりました。



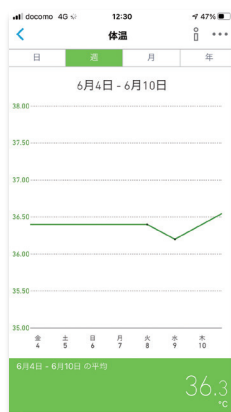
社員Bさん（女性）

学生時代は体温が低かったのですが、年齢を重ねて変化していることを認識していませんでした。計測して平熱を知ることで、いかに自分の肌感覚があてにならないかがわかりました。これからも体温管理を継続して、データに基づき判断していこうと思います。



社員Cさん（女性）

コロナ禍で毎日検温するようになりました。感覚で平熱は36.5~36.8の間ぐらいと感じていましたが、実際に平均値が出る36.6℃と、「自分の感覚は正しかった」と確認することができました。検温後にデータ転送というひと手間が加わっても、時間的・心理的拘束感も感じず、従来と変わらず検温を続けています。



社員Dさん（女性）

音波通信体温計を使うようになってから、自分自身が思っているよりも平熱が低いことがわかりました。自分の平熱は、忙しい日々の中でも安定して継続したデータを取得しなければ気が付きませんでした。この数値を、今度は自身の健康のバロメーターとして活用していきたいです。

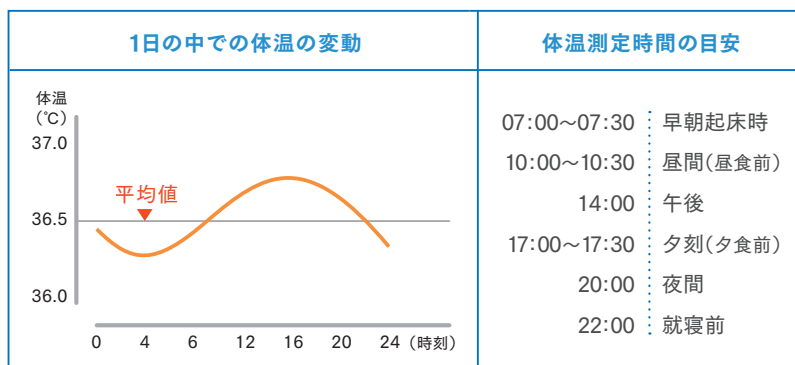


COLUMN 「平熱を知る」ことから始めよう

体温は一人ひとり異なります。また、年代によっても変化します。
そのため、毎日の体調管理には、日々の生活の中で継続して体温を計測し、「自分の平熱を知る」ことが重要となってきます。

平熱には個人差・時間差がある

発熱があるかどうかを正しく判断するためには、自分の平熱を知ることが大切です。体温は1日の中で変動し、一般的に朝が最も低く、夕方に向けて徐々に上昇し、夜になるとまた下がっていきます。自分の平熱を知るために、1日に数回、決まった時間に同じ部位で検温し、時間ごとの平熱を把握しておきましょう。1日数回検温するのが難しい場合は、体温が安定し変化の少ない起床後、食事前の体温を把握しましょう。



体温をグラフで見るとわかること

体温を継続的に測って「平熱を知る」と、日々の体調の変化を視覚的に捉えることができます。これにより、わずかな体調の変化にも気づくことができます。例えば、発熱時に、体温の変化をグラフで認識すると、薬の効き具合や、回復の過程が分かります。「OMRON connect」では、指定した期間の平均体温を表示できるので、体温の変化をより客観的に捉えることができます。



【オムロン 音波通信体温計 MC-6800B けんおんくん】

販売名	電子体温計 MC-6800B シリーズ
本体質量	約 14g(電池含む)
外形寸法	20.1(幅) × 136.8(長さ) × 12.8(厚さ) mm
電源	リチウム電池 CR1220 × 1
付属品	お試し用電池 (CR1220 × 1個、内蔵)、収納ケース、スタートアップガイド、取扱説明書 (医療機器添付文書・品質保証書付き)
その他・特記事項	医療機器認証番号 / 302AGBZX00125000 管理医療機器

機能について

- ・音波式通信機能搭載で、検温結果をスマホ管理
- ・携帯・保管に便利な収納ケース付き
- ・電池交換が可能



測定方法	予測式・実測式	測定部位	わき
体温表示	3桁+℃表示、0.1℃毎	測定時間 (目安)	予測: 15秒 / 実測: 10分
メモリ	前回値	通信機能	音波通信
お知らせブザー	おしらせブザー付き	オートパワーオフ	自動的に電源オフ
フラット感温部	ずれにくいフラット感温部	電池寿命の目安	約 730 回 (予測検温) 約 365 回 (実測検温)

オムロン ヘルスケア株式会社

グローバルコミュニケーション統轄部 広報部: 富田、飯島、奥村

〒617-0002 京都府向日市寺戸町九ノ坪53 TEL:075-925-2004 FAX:075-925-2005

E-mail: pr-ohq@omron.com ホームページ <https://www.healthcare.omron.co.jp/>

< 本件に関するメディア関係者のお問い合わせ先 >

オムロン ヘルスケア株式会社PR事務局 (PRAPJAPAN内)

西川(070-2161-6961)・齊藤(070-4549-7919)

TEL:03-4580-9153 FAX:03-4580-9155 MAIL:omron_pr@prap.co.jp